

**応急仮設住宅周辺環境調査
(2013年2月)
～報告書～**

2013年3月22日

特定非営利活動法人いわて連携復興センター

○実施概要

○実施目的

応急仮設住宅にお住まいの世帯ごとの皆様の生活の状況を調査し、応急仮設住宅における生活課題を明らかにし、改善につなげることを目的とする。

○実施枠組

<実施主体> 特定非営利活動法人いわて連携復興センター

<協力> 岩手県復興局生活再建課 実施市町村

<実施支援> 日本財団 一般社団法人RCF災害支援チーム

○実施スケジュール

2013年1月29日～2月18日 調査票の配布(関係団体・支援員事業との連携)

2013年3月2日まで 調査票の回収

2013年3月下旬 調査報告書(第1案)作成終了

○対象

宮古市、山田町、大槌町、釜石市、大船渡市、陸前高田市 各仮設住宅の15%程度へ配布(無作為)

※仮設団地の戸数を考慮し、全仮設住宅団地を対象にした2段階無作為抽出

仮設支援員、支援団体等による配布と郵送による回収

○回収数

市町村	団地数	戸数	配布数	回収数	回収率	市町村別構成比
宮古	62	2,010	328	130	39.6%	14.3%
山田	46	1,950	311	125	40.2%	13.8%
大槌	48	2,146	314	181	57.6%	19.9%
釜石	50	3,164	422	171	40.5%	18.8%
大船渡	37	1,811	292	133	45.5%	14.6%
陸前高田	53	2,168	330	168	50.9%	18.5%
総計	296	13,249	1,997	908	45.5%	100.0%

○調査結果要約(キーメッセージ)

●2012年7月との比較

- ・世帯構成において、50代以下の男性の単身の割合が減少し、配偶者を含めた複数世帯の割合が高まっている。
- ・就業状況において、60代以下の女性、50代・60代の男性の正社員の割合が高まり、それに伴い、無職の割合が低くなっている。
- ・集会所の利用状況において、70代女性では、「月6回以上」と「利用していない」の2極化傾向に推移している。
- ・生活安心度に関して、全体的に「安心して生活できている」割合が微減し、「不安を感じている」割合が高まっている傾向がある。
- ・団地内の会話頻度は、「ほぼ毎日会話する」割合が全体的に減少傾向を示し、会話をするのが「週1回未満」の割合が増加している。
- ・住まい見込みに関しては、「既に見通しが立っている」割合が高まり、「何もしていない」割合が低くなっている。

●集会所の利用について

- ・集会所の利用に関しては、70代以上で男性35%、女性40%が「月3～5回以上」集会所を利用している。
- ・集会所を利用しない理由については、「利用する必要がない」が特に男性で割合が高い。

●住まいの見通しについて

- ・住まいの見通しは、年代が高くなるほど、「既に見通しが立っている」割合が高い。
- ・住まいの見通しが高いほど、集会所の利用頻度、団地内の会話頻度、生活安心度が高い。
- ・住まいの見通しで、居住市町村に住み続ける割合は「既に見通しが立っている」回答者の9割。
また、「公営住宅への入居」は全体の44%であり、年齢とともに割合が高くなる。
- ・「検討し始めている」「何もしていない」の回答者へ見通しを立たない理由を聞くと、「高台移転、区画整理等、確定するのを待っている」割合が最も高く、また男性は女性と比較し、資金的な問題についても選択する割合が高くなっている。
- ・住まいを決める際に優先することは、全体では、「津波などの災害の危険性が低い」の割合が高い。

●復興に関する情報について

- ・今後の生活に十分な情報を得られているのは2%。欲しい情報をあまり得ることができない、まったく得られていないを合わせると68%が情報への不満を持っている。
- ・主な復興のメディア(複数解)に関しては、「市町村広報」が最も高く、次いで「新聞」「各戸配布資料」「地域説明会」であり、紙媒体、行政からの直接的な情報提供の場を重視している。
- ・今後、拡充してほしい情報は、土地利用、住宅再建、災害公営住宅の回答割合が高く、住宅への関心が高いことがうかがえる。
また、40代以下では、生活資金や教育に関する支援制度、また70代以上は介護、福祉を回答した割合が高い。
- ・住まいの見通しがたっているものほど、情報に関する満足度が高く、また必要な情報を得られている。

○調査結果1(基本属性:市町村別構成)

各市町村の年代別分布は以下のとおりである。

年代の分布は、2012年7月の調査と大きな偏りは認められなかった。

年代別分布	宮古		山田		大槌		釜石		大船渡		陸前高田		総計	
	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%
20代	3	2.3%		0.0%	3	1.7%	2	1.2%	1	0.8%	2	1.2%	11	1.2%
30代	11	8.5%	6	4.8%	10	5.5%	9	5.3%	6	4.5%	9	5.4%	51	5.6%
40代	17	13.1%	16	12.8%	25	13.8%	25	14.6%	14	10.5%	22	13.1%	119	13.1%
50代	20	15.4%	26	20.8%	27	14.9%	32	18.7%	29	21.8%	32	19.0%	166	18.3%
60代	40	30.8%	28	22.4%	53	29.3%	45	26.3%	37	27.8%	52	31.0%	255	28.1%
70代	35	26.9%	45	36.0%	61	33.7%	56	32.7%	44	33.1%	48	28.6%	289	31.8%
未回答	4	3.1%	4	3.2%	2	1.1%	2	1.2%	2	1.5%	3	1.8%	17	1.9%
総計	130		125		181		171		133		168		908	

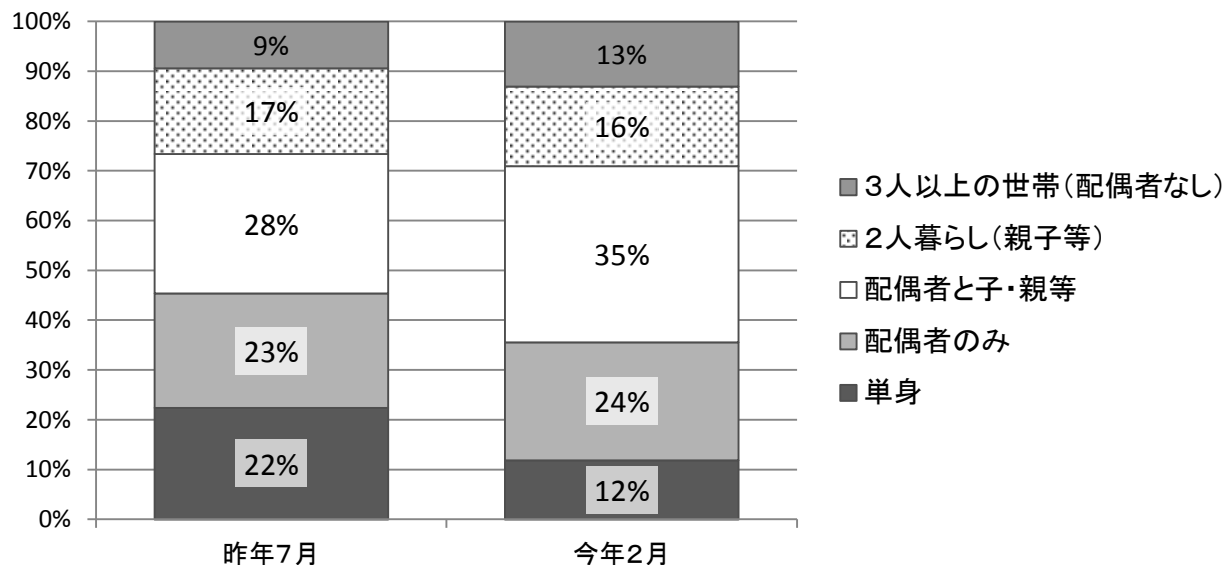
性別	宮古		山田		大槌		釜石		大船渡		陸前高田		総計	
	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%
男性	69	53.1%	54	43.2%	73	40.3%	73	42.7%	69	51.9%	80	47.6%	418	46.0%
女性	49	37.7%	57	45.6%	88	48.6%	84	49.1%	49	36.8%	68	40.5%	395	43.5%
未回答	12	9.2%	14	11.2%	20	11.0%	14	8.2%	15	11.3%	20	11.9%	95	10.5%
総計	130		125		181		171		133		168		908	

○調査結果2（基本属性：世帯構成）

セルに色がついているものは、前回調査と比較し、5%以上の増減があったもの（色が濃いものは10%以上）

・調査対象者の世帯構成を2012年7月調査と比較を行った。前回調査と比較し、50代以下の男性の単身の割合が減少し、配偶者を含めた複数世帯の割合が高まっている。

世帯構成の比較の比較



家族構成	40代以下				50代				60代				70代以上				未回答		全体	
	男性		女性		男性		女性		男性		女性		男性		女性		昨年7月	今年2月	昨年7月	今年2月
	昨年7月	今年2月	昨年7月	今年2月	昨年7月	今年2月	昨年7月	今年2月	昨年7月	今年2月	昨年7月	今年2月	昨年7月	今年2月						
単身	23%	9%	8%	7%	25%	11%	13%	8%	20%	12%	25%	19%	15%	8%	44%	25%	25%	8%	22%	12%
配偶者のみ	11%	8%	5%	7%	13%	13%	22%	18%	33%	37%	26%	25%	48%	48%	16%	19%	26%	23%	23%	24%
配偶者と子・親等	41%	61%	54%	55%	36%	51%	36%	39%	28%	32%	21%	21%	21%	27%	5%	11%	18%	27%	28%	35%
2人暮らし(親子等)	17%	14%	18%	10%	17%	13%	18%	20%	14%	11%	17%	23%	9%	9%	24%	25%	20%	27%	17%	16%
3人以上の世帯(配偶者なし)	8%	8%	14%	21%	8%	12%	11%	15%	4%	8%	10%	12%	7%	9%	10%	20%	11%	14%	9%	13%
小計	259	74	454	101	242	83	306	61	381	119	368	84	424	116	481	91	341	77	3256	806

○調査結果3 (就業状況)

セルに色がついているものは、前回調査と比較し、5%以上の増減があったもの(色が濃いものは10%以上)

・就業状況について2012年7月調査と比較を行った。前回調査と比較し、60代以下の女性、50代・60代の男性の正社員の割合が高まり、それに伴い、無職の割合が低くなっている。

就業状況	40代以下				50代				60代				70代以上				全体	
	男性		女性		男性		女性		男性		女性		男性		女性			
	昨年7月	今年2月	昨年7月	今年2月	昨年7月	今年2月	昨年7月	今年2月	昨年7月	今年2月	昨年7月	今年2月	昨年7月	今年2月	昨年7月	今年2月	昨年7月	今年2月
正社員	61%	61%	25%	35%	39%	49%	17%	38%	8%	17%	2%	13%	1%	6%	1%	3%	15%	25%
期限付き社員	9%	8%	9%	13%	9%	9%	7%	11%	10%	9%	3%	8%	1%	3%	1%	2%	5%	7%
パート・アルバイト	4%	9%	28%	21%	8%	8%	23%	17%	11%	11%	15%	20%	3%	3%	2%	3%	12%	11%
自営業(農家・漁家含まず)	8%	5%	5%	8%	11%	12%	9%	5%	9%	10%	7%	7%	8%	6%	3%	5%	7%	7%
農家・漁家	6%	7%	2%	2%	10%	9%	3%	3%	13%	11%	6%	7%	12%	10%	2%	1%	6%	7%
無職	12%	9%	31%	22%	24%	13%	40%	27%	49%	42%	67%	46%	75%	71%	91%	85%	54%	43%
回答者数	262	75	451	101	240	86	309	64	392	119	377	90	418	96	485	96	3252	807

・現在の就業状況を世帯主かそれ以外かで比較すると、50代以下の14%の世帯主が無職であった。

就業状況	世帯主				その他				未回答		全体	
	50代以下		60代以上		50代以下		60代以上					
	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%
正社員	109	52%	32	9%	45	36%	11	13%	6	15%	203	25%
期限付き社員	21	10%	20	6%	11	9%	4	5%	4	10%	60	7%
パート・アルバイト	27	13%	29	8%	20	16%	9	11%	5	13%	90	11%
自営業(農家・漁家含まず)	12	6%	23	7%	15	12%	6	7%	1	3%	57	7%
農家・漁家	10	5%	31	9%	5	4%	4	5%	4	10%	54	7%
無職	29	14%	216	62%	30	24%	48	59%	20	50%	343	43%
小計	208		351		126		82		40		807	

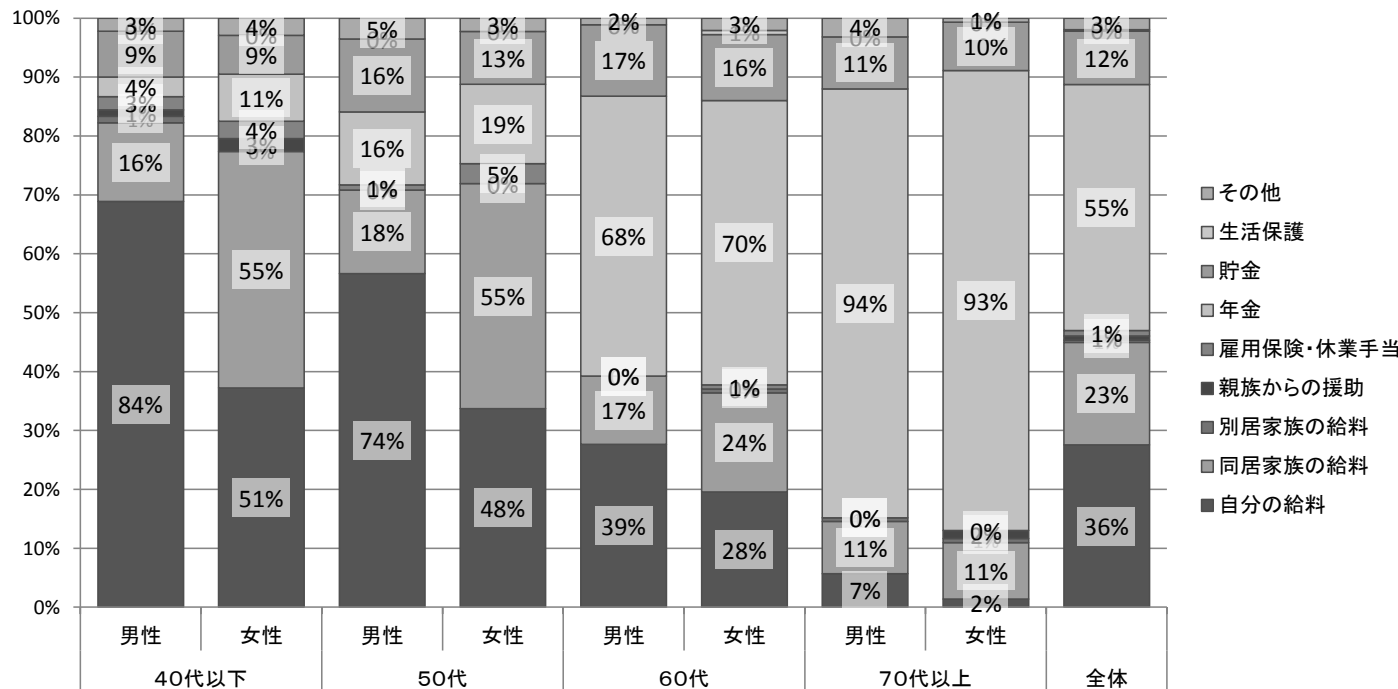
○調査結果4（生活費について※複数回答）

・現在の主な収入源を複数回答で質問した。

主な収入源としては、年代とともに、自分の給料の割合が減り、年金の割合が高くなっている。

また、全体の12%が貯金と回答しており、貯金を切り崩した生活を送っていることが予想される。

現在の収入状況



現在の主な収入 (複数回答)	40代以下				50代				60代				70代以上				未回答		全体	
	男性		女性		男性		女性		男性		女性		男性		女性		n	%	n	%
	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%						
自分の給料	62	84%	51	51%	64	74%	30	48%	50	39%	28	28%	9	7%	2	2%	27	29%	323	36%
同居家族の給料	12	16%	55	55%	16	18%	34	55%	21	17%	24	24%	14	11%	14	11%	14	15%	204	23%
別居家族の給料	1	1%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	1	1%	1	1%	1	1%	1	1%	5	1%
親族からの援助	1	1%	3	3%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	2	2%	2	2%	8	1%
雇用保険・休業手当	2	3%	4	4%	1	1%	3	5%	0	0%	1	1%	0	0%	0	0%	0	0%	11	1%
年金	3	4%	11	11%	14	16%	12	19%	86	68%	69	70%	115	94%	114	93%	66	70%	490	55%
貯金	7	9%	9	9%	14	16%	8	13%	22	17%	16	16%	14	11%	12	10%	4	4%	106	12%
生活保護	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	1	1%	0	0%	0	0%	2	2%	3	0%
その他	2	3%	4	4%	4	5%	2	3%	2	2%	3	3%	5	4%	1	1%	0	0%	23	3%
回答者数	74		100		87		62		127		99		122		123		94		888	

○調査結果5（コミュニティ:集会所・談話室の利用頻度および満足度）

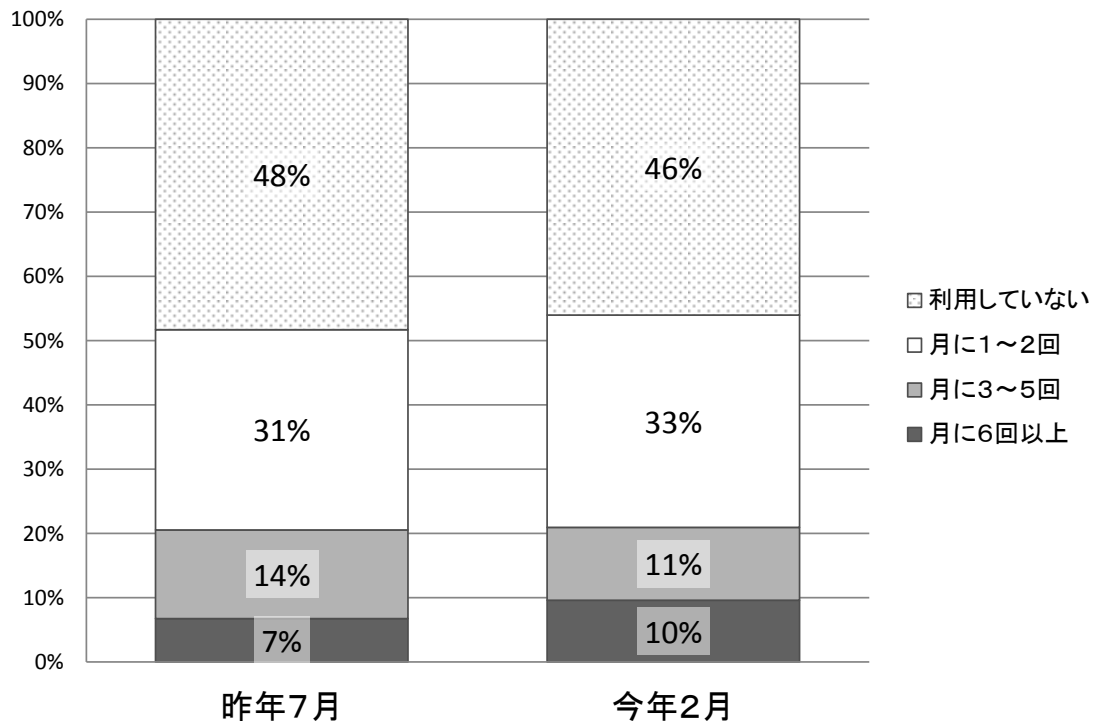
・集会所の頻度について質問した。

その結果、70代以上では男性が35%、女性は40%が「月3～5回以上」集会所を利用している。

・集会所の利用に関して2012年7月調査と比較を行うと、集会所の利用状況において、70代女性では、「月6回以上」と「利用していない」の2極化傾向に推移している。

また、月6回以上利用している割合が全体で微増している。

集会所の利用状況比較

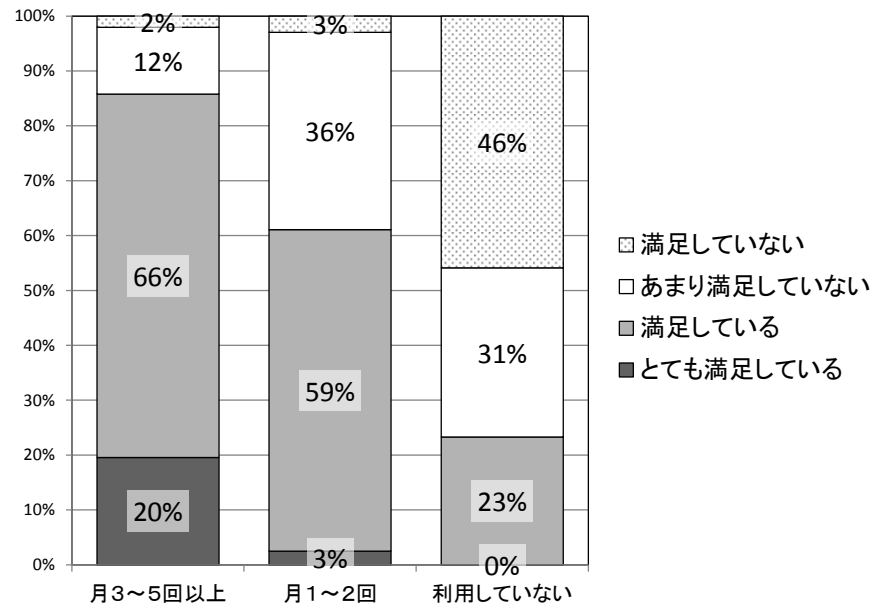


集会所利用状況	40代以下				50代				60代				70代以上				全体	
	男性		女性		男性		女性		男性		女性		男性		女性		昨年7月	今年2月
	昨年7月	今年2月	昨年7月	今年2月	昨年7月	今年2月	昨年7月	今年2月	昨年7月	今年2月	昨年7月	今年2月	昨年7月	今年2月				
月に6回以上	2%	4%	3%	5%	3%	4%	5%	7%	6%	6%	9%	5%	9%	21%	13%	19%	7%	10%
月に3～5回	3%	8%	3%	6%	8%	1%	6%	5%	12%	10%	17%	15%	18%	14%	27%	21%	14%	11%
月に1～2回	19%	21%	21%	17%	24%	30%	33%	34%	33%	38%	37%	48%	39%	39%	36%	31%	31%	33%
利用していない	76%	67%	73%	72%	65%	65%	56%	54%	49%	46%	37%	32%	33%	26%	25%	30%	48%	46%
回答者数	266	73	462	101	235	82	309	59	387	121	379	94	417	117	485	111	3275	839

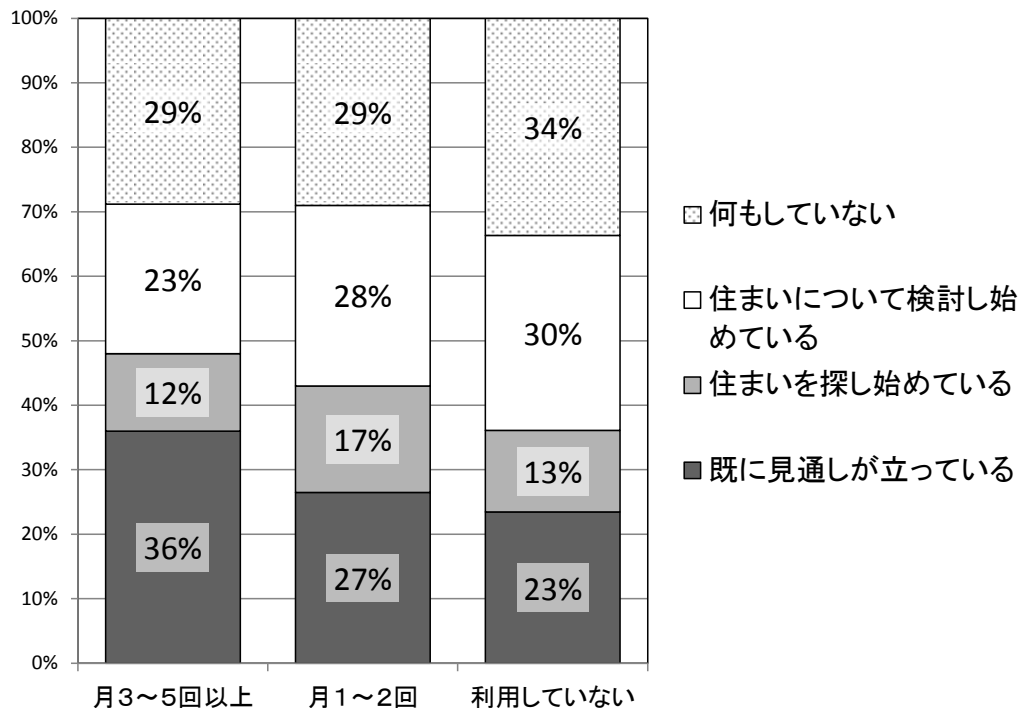
○調査結果5（コミュニティ：集会所・談話室の利用頻度）

- ・集会所の利用頻度と、「集会所利用満足度」の関係を見ると、利用率が高いほど、満足度が高い傾向にあった。
- ・また、生活安心度、住まいの今後の見通しとの関係を整理すると、前回調査と同様に、集会所の利用頻度が高い人は、安心度が高く、住まいの見通しが立っている割合も高い傾向があった。

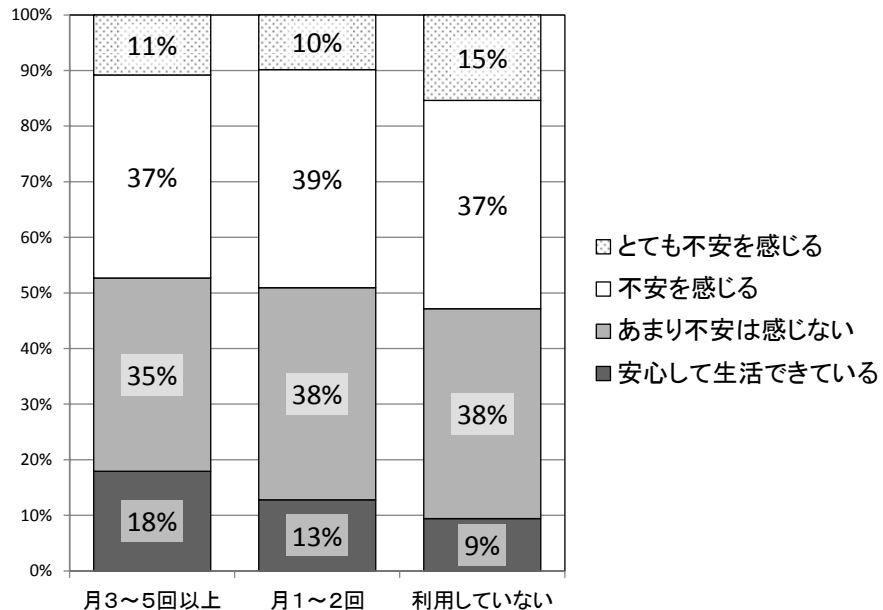
集会所の利用頻度と利用満足度



集会所の利用頻度と住まいの見通し



集会所の利用頻度と生活安心度



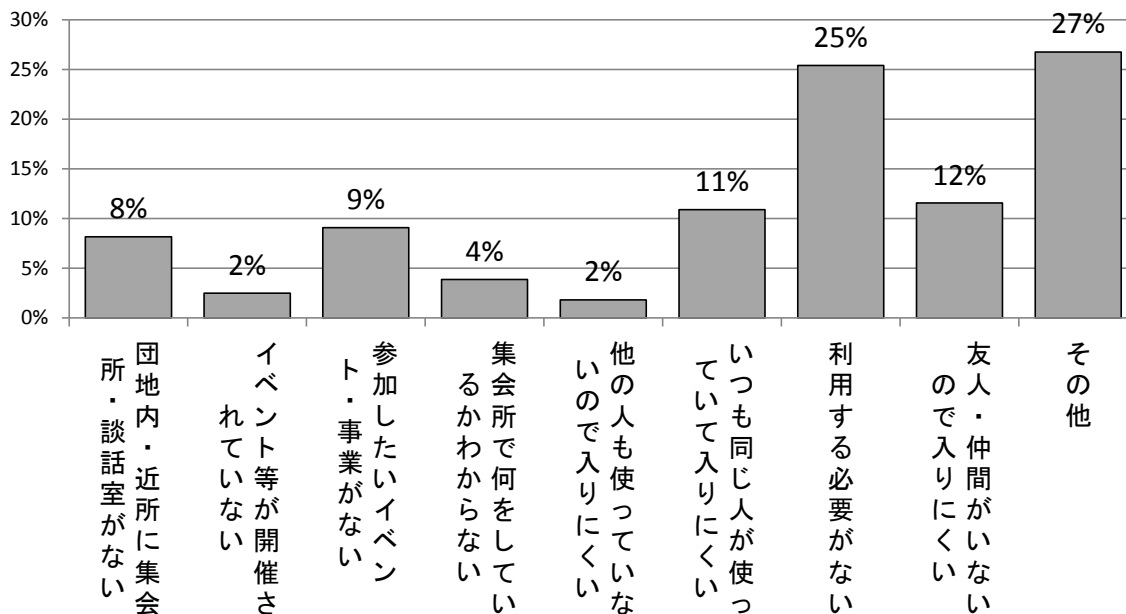
○調査結果5（コミュニティ:集会所・談話室の利用頻度および満足度）

・「集会所を利用していない」と回答した対象者へ、利用しない理由をたずねた。

理由については、「利用する必要がない」が特に男性で割合が高い。

また、その他の項目も高く、「日中仕事をしていて使うことができない」と回答した割合が高かった。

集会所・談話室を利用しない理由



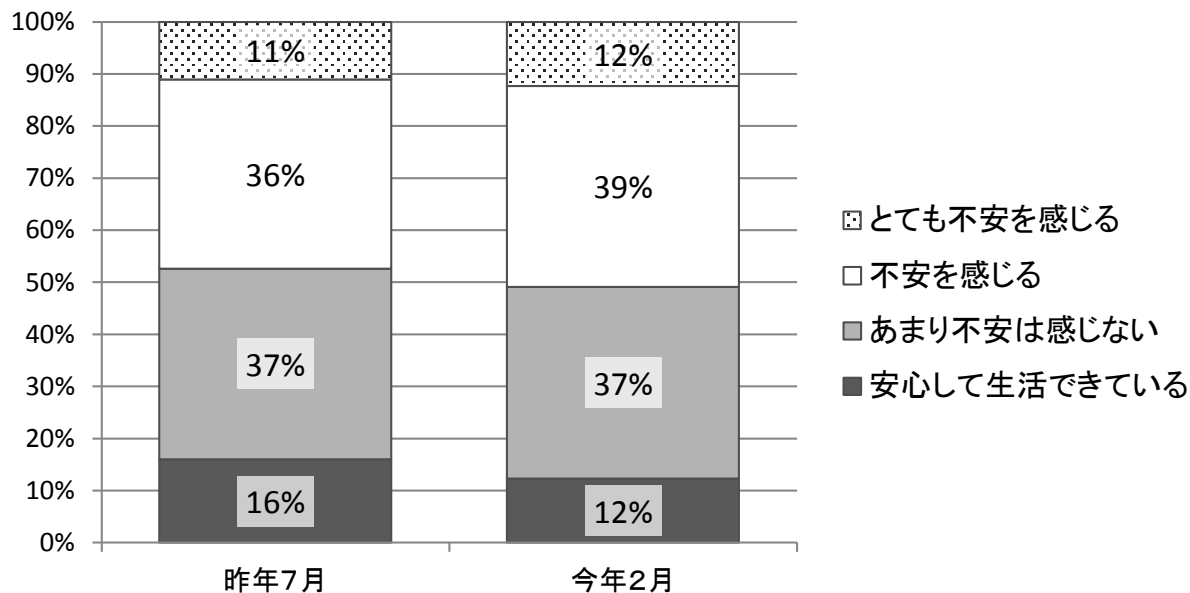
集会所を使わない理由	40代以下				50代				60代				70代以上				未回答		全体	
	男性		女性		男性		女性		男性		女性		男性		女性		n	%	n	%
	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%						
団地内・近所に集会所・談話室がない	4	8%	9	12%	4	8%	2	5%	4	6%	2	5%	1	2%	8	18%	2	5%	36	8%
イベント等が開催されていない	1	2%		0%	2	4%	1	3%	1	2%	2	5%	1	2%	1	2%	2	5%	11	2%
参加したいイベント・事業がない	5	10%	3	4%	4	8%	4	10%	6	9%	5	13%	5	12%	6	14%	2	5%	40	9%
集会所で何をしているかわからない	2	4%	1	1%	2	4%	1	3%	4	6%	2	5%	1	2%	1	2%	3	8%	17	4%
他の人も使っていないので入りにくい	1	2%	1	1%		0%	2	5%	2	3%		0%	1	2%		0%	1	3%	8	2%
いつも同じ人が使っていて入りにくい	2	4%	10	13%	5	10%	5	13%	4	6%	5	13%	7	17%	5	11%	5	13%	48	11%
利用する必要がない	22	45%	25	33%	17	34%	8	21%	13	20%	5	13%	10	24%	4	9%	8	21%	112	25%
友人・仲間がいなくて入りにくい	4	8%	5	7%	3	6%	4	10%	11	17%	4	10%	8	20%	7	16%	5	13%	51	12%
その他	8	16%	21	28%	13	26%	12	31%	20	31%	14	36%	7	17%	12	27%	11	28%	118	27%
小計	49		75		50		39		65		39		41		44		39		441	10

○調査結果6（生活満足度：生活への安心度・不安の有無）

セルに色がついているものは、前回調査と比較し、5%以上の増減があったもの（色が濃いものは10%以上）

- ・生活安心度に関して2012年7月調査と比較を行った。
- ・全体的に「安心して生活できている」割合が微減し、「不安を感じている」割合が高まっている傾向がある。

生活安心度の比較



生活安心度	40代以下				50代				60代				70代以上				未回答		全体	
	男性		女性		男性		女性		男性		女性		男性		女性		昨年7月	今年2月	昨年7月	今年2月
	昨年7月	今年2月	昨年7月	今年2月	昨年7月	今年2月	昨年7月	今年2月	昨年7月	今年2月	昨年7月	今年2月	昨年7月	今年2月						
安心して生活できている	17%	10%	14%	11%	17%	13%	12%	11%	13%	8%	11%	9%	19%	19%	21%	17%	18%	10%	16%	12%
あまり不安は感じない	41%	48%	36%	42%	36%	26%	35%	30%	41%	47%	36%	35%	41%	32%	33%	36%	32%	33%	37%	37%
不安を感じる	28%	27%	36%	38%	34%	47%	37%	48%	36%	30%	42%	45%	34%	33%	36%	40%	41%	45%	36%	39%
とても不安を感じる	15%	15%	13%	9%	12%	14%	16%	11%	10%	16%	10%	10%	6%	16%	10%	7%	9%	11%	11%	12%
回答者数	267	73	456	96	241	87	304	61	394	129	366	96	429	117	497	115	337	87	3291	861

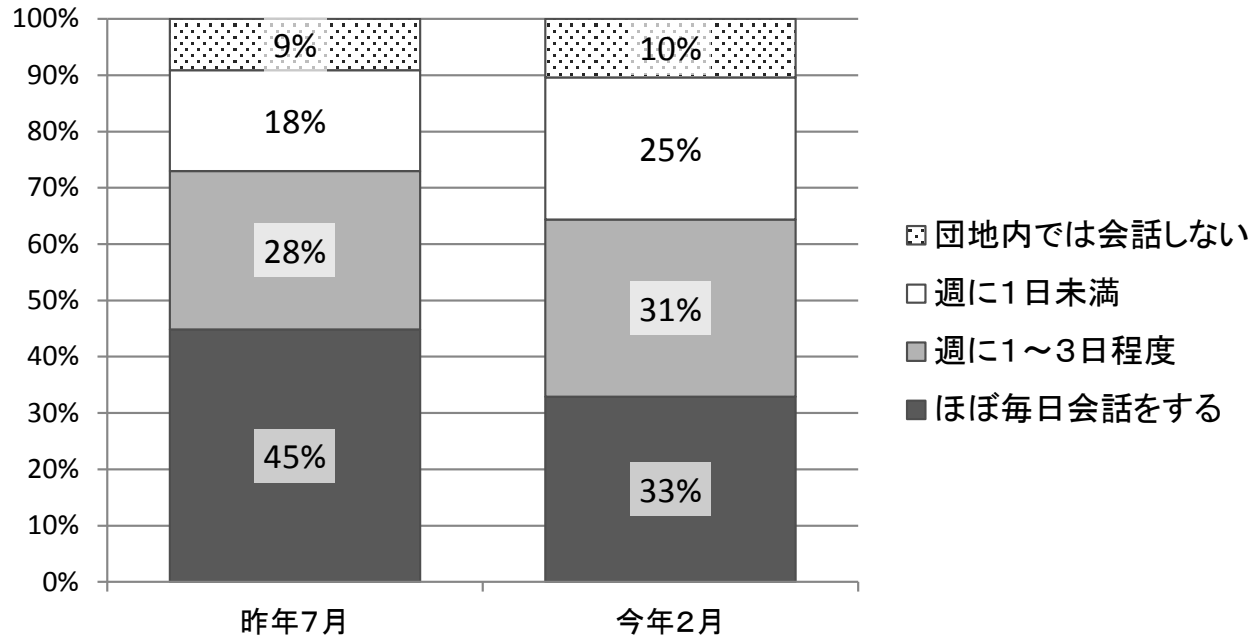
○調査結果7(対人関係:仮設団地内での会話頻度)

セルに色がついているものは、前回調査と比較し、5%以上の増減があったもの(色が濃いものは10%以上)

・団地内の会話頻度について、2012年7月調査と比較を行った。

「ほぼ毎日会話する」割合が全体的に減少傾向を示し、会話をするのが「週1回未満」の割合が増加しており、団地内の会話頻度が低下傾向にあることがうかがえる。

団地内における会話頻度の比較

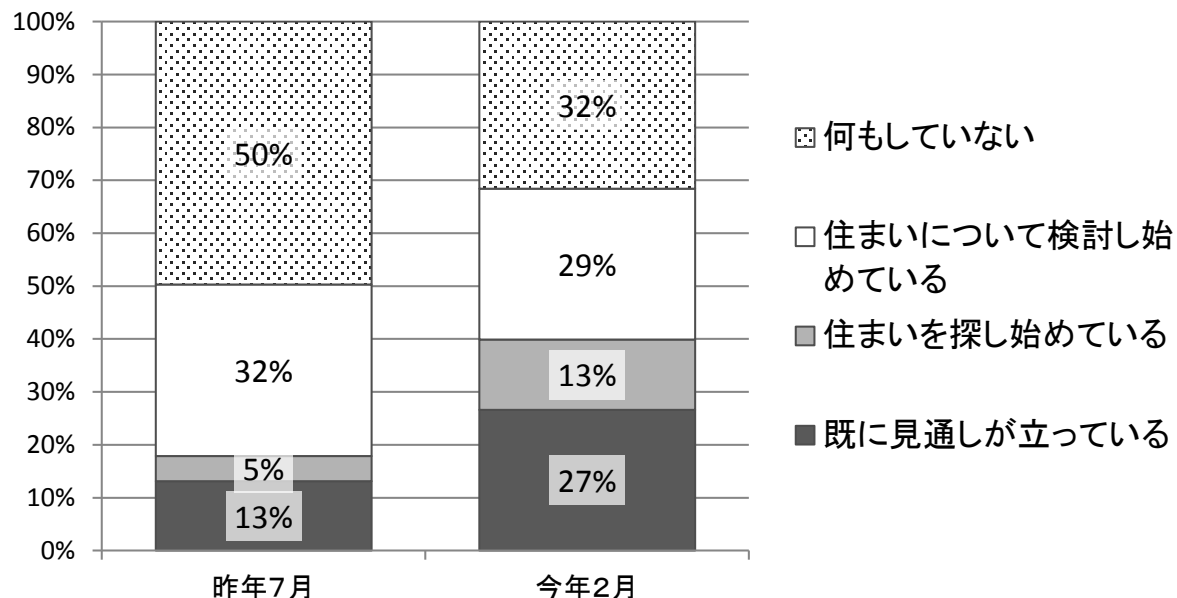


団地内での会話頻度	40代以下				50代				60代				70代以上				未回答		全体	
	男性		女性		男性		女性		男性		女性		男性		女性		昨年7月	今年2月	昨年7月	今年2月
	昨年7月	今年2月	昨年7月	今年2月	昨年7月	今年2月	昨年7月	今年2月	昨年7月	今年2月	昨年7月	今年2月	昨年7月	今年2月						
ほぼ毎日会話をする	23%	23%	35%	21%	28%	21%	37%	30%	43%	30%	55%	32%	55%	41%	61%	54%	50%	37%	45%	33%
週に1~3日程度	32%	33%	29%	30%	36%	28%	33%	33%	28%	31%	24%	40%	26%	30%	25%	27%	26%	33%	28%	31%
週に1日未満	27%	30%	25%	36%	23%	34%	22%	30%	19%	29%	16%	18%	13%	21%	9%	14%	15%	20%	18%	25%
団地内では会話しない	19%	14%	12%	13%	14%	17%	7%	8%	10%	10%	5%	10%	7%	8%	5%	5%	9%	10%	9%	10%
回答者数	259	73	452	102	234	87	296	64	381	125	359	100	410	118	486	117	329	89	3206	875

○調査結果8（住まいの見通し）

- ・今後の住まいの見通しについて質問を行った。住まいの見通しは、年代が高くなるほど、「既に見通しが立っている」割合が増加傾向にある。
- ・2012年7月調査と比較を行うと、既に見通しが立っている」割合が高まり、「何もしていない」割合が低くなっている。

住まいの見通しの比較



住まいの見通し	40代以下		50代		60代		70代以上		未回答		全体									
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	昨年7月	今年2月	昨年7月	今年2月								
	昨年7月	今年2月	昨年7月	今年2月	昨年7月	今年2月	昨年7月	今年2月	昨年7月	今年2月	昨年7月	今年2月								
既に見通しが立っている	15%	20%	12%	15%	12%	24%	11%	20%	11%	25%	13%	34%	15%	33%	16%	39%	13%	36%	13%	27%
住まいを探し始めている	5%	14%	5%	16%	4%	13%	5%	7%	5%	21%	4%	9%	5%	12%	3%	8%	6%	12%	5%	13%
住まいについて検討し始めている	34%	42%	35%	34%	31%	28%	35%	32%	35%	24%	30%	28%	35%	20%	29%	24%	28%	26%	32%	29%
何もしていない	46%	24%	48%	34%	53%	35%	49%	41%	49%	30%	52%	29%	45%	35%	52%	29%	53%	26%	50%	32%
回答者数	253	74	446	97	236	83	293	56	380	105	351	76	404	81	462	62	320	50	3145	684

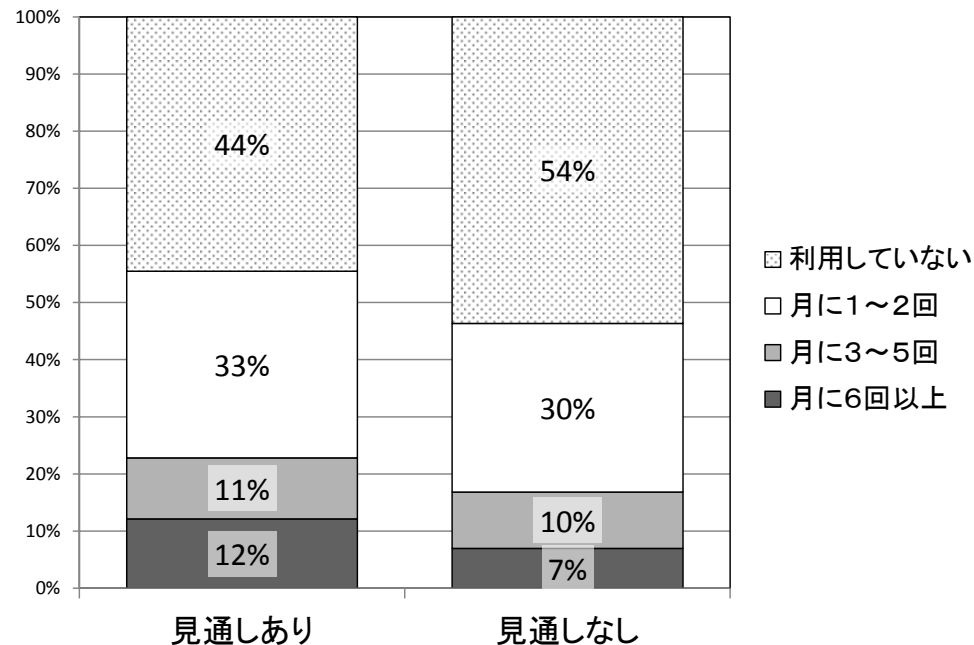
○調査結果8（住まいの見通し）

・住まいの見通しがある（「既に見通しが立っている」「住まいを探し始めている」の回答者）と、見通しなし（「住まいについて検討し始めている」「何もしていない」の回答者）に分類し、コミュニティや生活安心度の状況との関係性を見た。

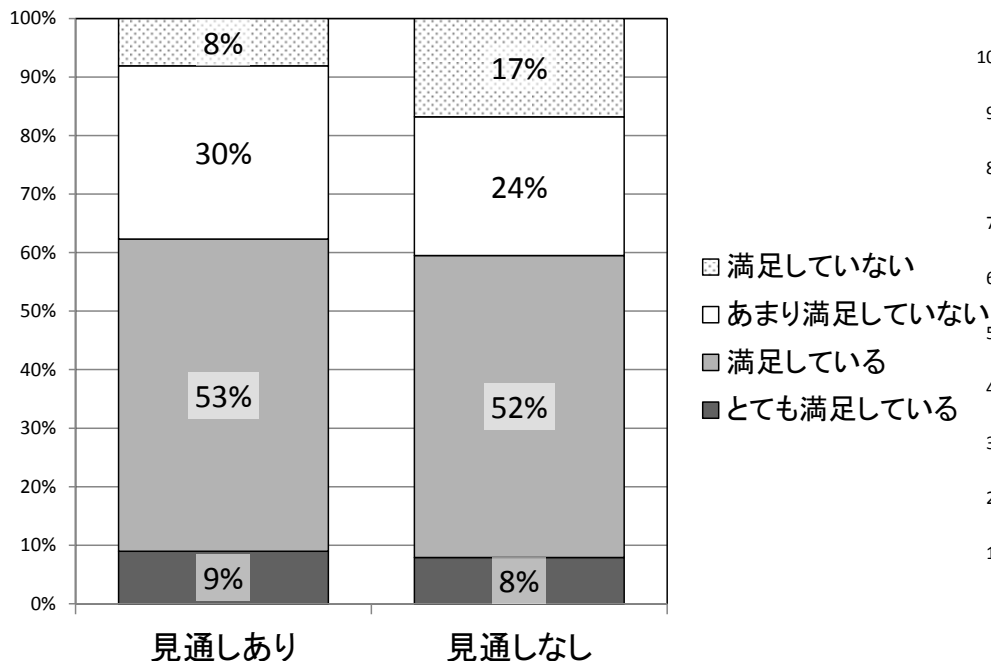
・「見通しあり」は「見通しなし」と比較し、集会所の利用頻度が高く、また団地内の会話頻度も高い状況にある。

・また、生活安心度も「見通しあり」が高い状況であり、「コミュニティ」「生活安心度」と「住まいの見通し」が互いに関係性があることが考えられる。

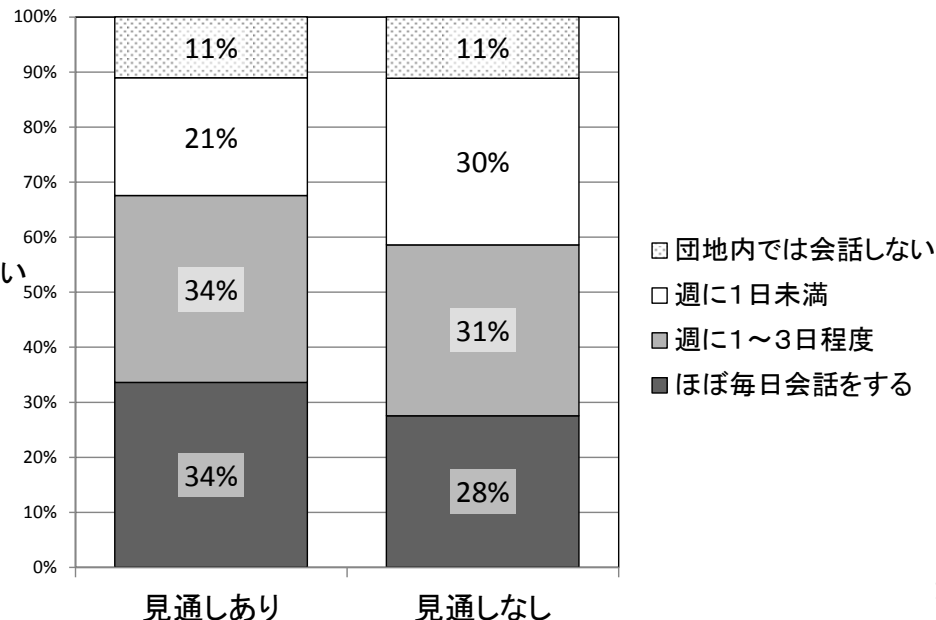
住まいの見通しと集会所の利用状況



住まいの見通しと生活安心度



住まいの見通しと団地内会話頻度



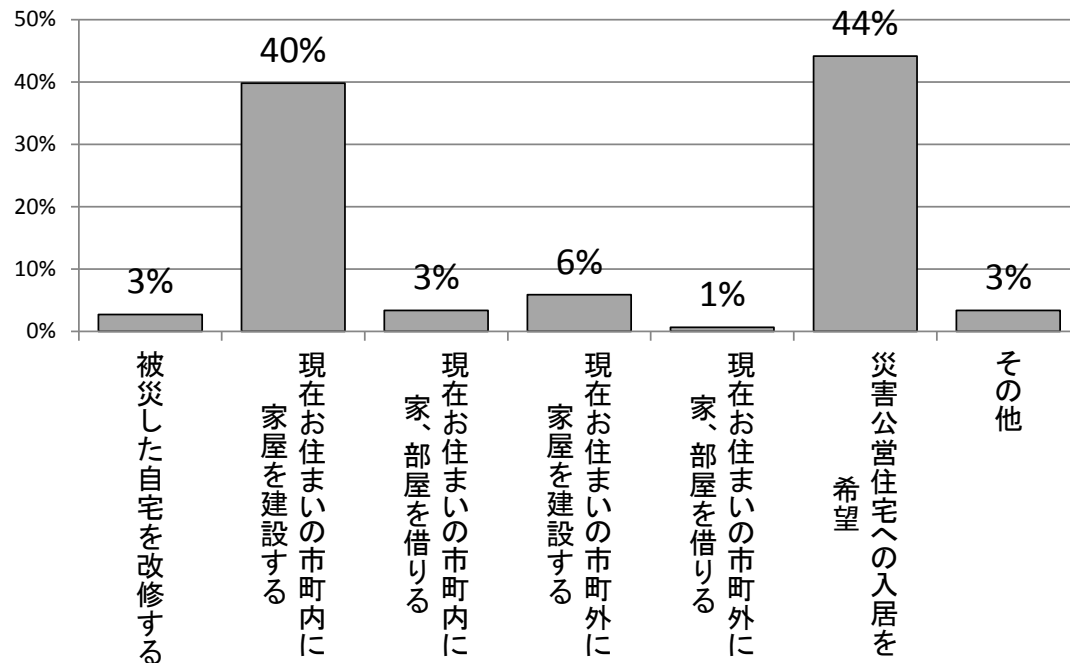
○調査結果9（住まいの見通し ※具体的な見通し）

・住まいの見通しについて「既に見通しがたっている」「住まいを探し始めている」の回答者へ、具体的な住まいの見通しについて質問を行った。

住まいの見通しで、居住市町村に住み続ける割合は「既に見通しが立っている」回答者の9割であった。

年代別の傾向では、40代以下、50代では、現在住んでいる市町村内に家屋を新築する割合が高い。また、「公営住宅への入居」は全体の44%であり、年齢とともに割合が高くなる傾向がある。

住まいの具体的な見通し



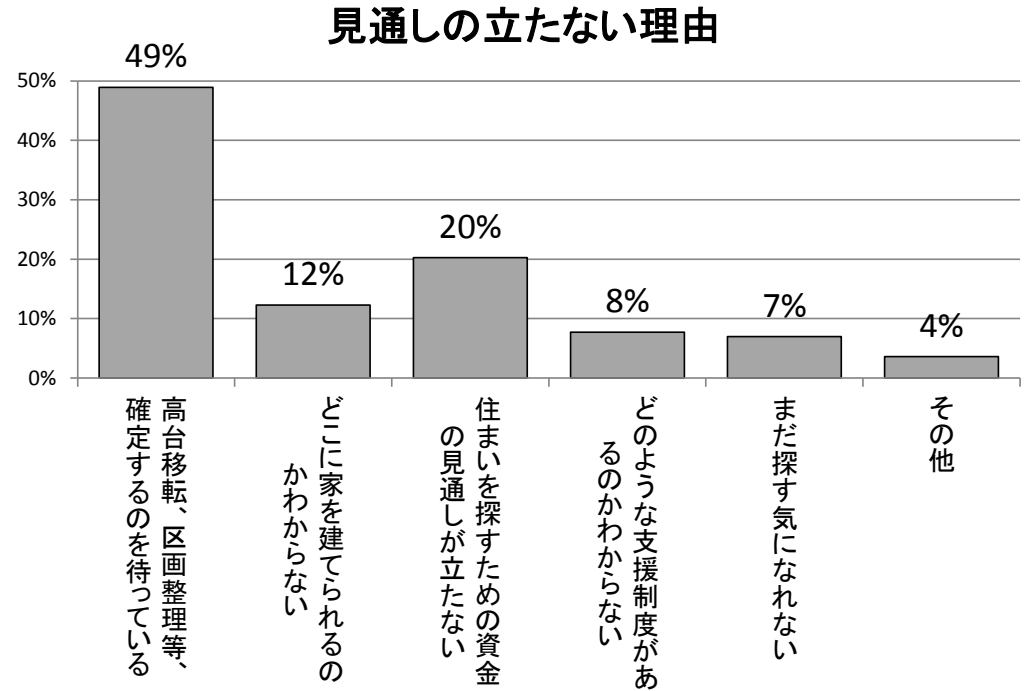
具体的な見通し	40代以下				50代				60代				70代以上				未回答		全体	
	男性		女性		男性		女性		男性		女性		男性		女性		n	%	n	%
	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%						
被災した自宅を改修する		0%		0%	1	3%		0%	3	5%	2	3%	3	4%	3	4%		0%	12	3%
現在お住まいの市町内に家屋を建設する	11	42%	16	47%	17	50%	9	43%	19	29%	27	47%	29	43%	22	28%	26	45%	176	40%
現在お住まいの市町内に家、部屋を借りる		0%	5	15%	1	3%		0%	4	6%		0%		0%	2	3%	3	5%	15	3%
現在お住まいの市町外に家屋を建設する	2	8%	2	6%	4	12%	3	14%	4	6%	3	5%	2	3%	4	5%	2	3%	26	6%
現在お住まいの市町外に家、部屋を借りる		0%	1	3%		0%		0%		0%		0%	2	3%		0%		0%	3	1%
災害公営住宅への入居を希望	13	50%	9	26%	10	29%	8	38%	31	48%	26	45%	30	44%	45	58%	23	40%	195	44%
その他		0%	1	3%	1	3%	1	5%	4	6%		0%	2	3%	2	3%	4	7%	15	3%
小計	26		34		34		21		65		58		68		78		58		442	

○調査結果9（住まいの見通し）

・住まいの見通しについて「検討し始めている」「何もしていない」の回答者へ見通しを立たない理由を質問した。

見通しの立たない理由として、「高台移転、区画整理等、確定するのを待っている」割合が最も高かった。

また男性は女性と比較し、資金的な問題についても選択する割合が高い傾向にあった。



見通しの立たない理由	40代以下				50代				60代				70代以上				未回答		全体	
	男性		女性		男性		女性		男性		女性		男性		女性		n	%	n	%
	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%						
高台移転、区画整理等、確定するのを待っている	24	55%	23	40%	27	54%	22	58%	33	55%	13	36%	28	55%	19	44%	14	39%	203	49%
どこに家を建てられるのかわからない	5	11%	12	21%	4	8%	4	11%	4	7%	7	19%	5	10%	5	12%	5	14%	51	12%
住まいを探すための資金の見通しが立たない	11	25%	10	18%	13	26%	6	16%	16	27%	7	19%	11	22%	4	9%	6	17%	84	20%
どのような支援制度があるのかわからない	1	2%	4	7%	3	6%	1	3%	4	7%	5	14%	3	6%	8	19%	3	8%	32	8%
まだ探す気になれない	3	7%	7	12%	2	4%	3	8%	2	3%	1	3%	2	4%	3	7%	6	17%	29	7%
その他		0%	1	2%	1	2%	2	5%	1	2%	3	8%	2	4%	4	9%	2	6%	15	4%
小計	44		57		50		38		60		36		51		43		36		415	

○調査結果10（住宅再建で最も優先する事項）

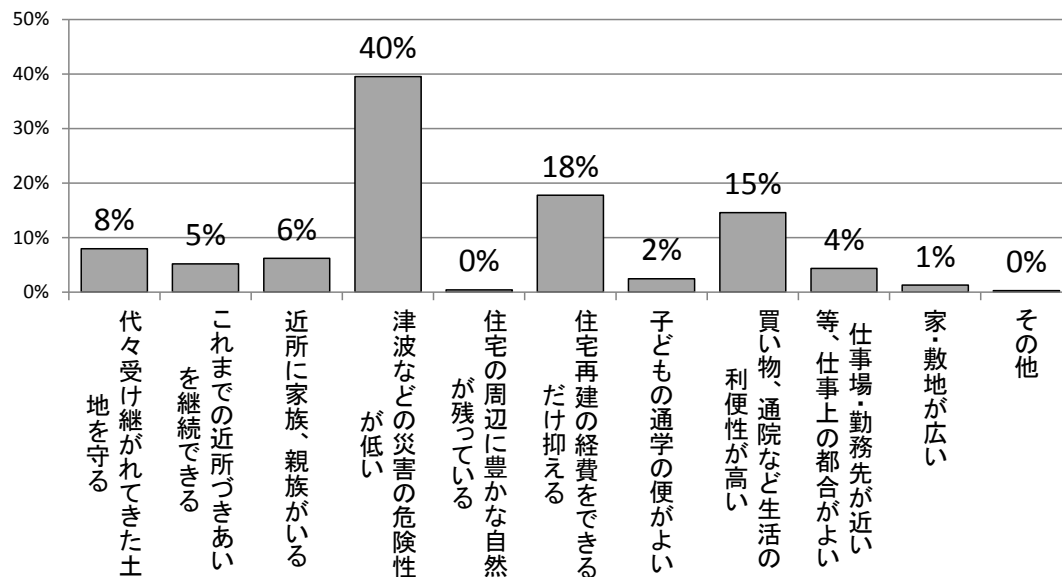
・住宅再建で最も優先する事項について質問を行った。

住まいを決める際に優先することは、全体では、「津波などの災害の危険性が低い」の割合が高かった。

この傾向は、40代以下、50代で「津波などの災害の危険性が低い」を選択する割合が強い。

また、年代があがるごとに、「買い物、通院など生活の利便性が高い」の割合が高くなっていく。

住宅再建で最も優先する事項



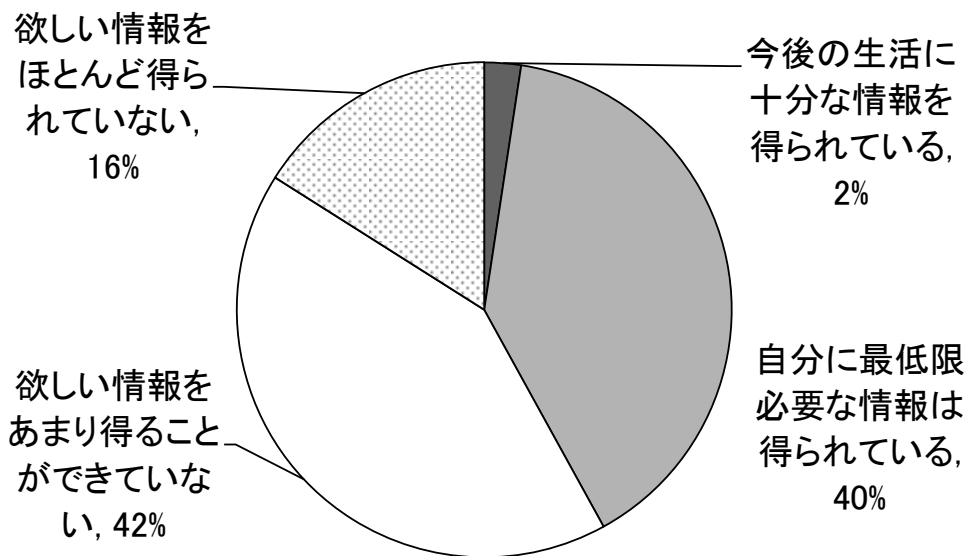
住まいを決める優先	40代以下				50代				60代				70代以上				未回答		全体	
	男性		女性		男性		女性		男性		女性		男性		女性		n	%	n	%
	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%						
代々受け継がれてきた土地を守る	7	11%	2	2%	5	7%	1	2%	4	4%	6	9%	8	9%	16	20%	6	8%	55	8%
これまでの近所づきあいを継続できる	3	5%	3	3%	6	8%		0%	4	4%	3	4%	5	6%	3	4%	9	13%	36	5%
近所に家族、親族がいる	2	3%	7	8%	3	4%	2	3%	4	4%	3	4%	10	11%	6	8%	6	8%	43	6%
津波などの災害の危険性が低い	37	56%	45	49%	36	47%	38	66%	38	42%	25	36%	21	23%	17	21%	17	24%	274	40%
住宅の周辺に豊かな自然が残っている	1	2%		0%		0%		0%	1	1%		0%		0%	1	1%		0%	3	0%
住宅再建の経費をできるだけ抑える	6	9%	13	14%	11	14%	10	17%	23	26%	17	24%	17	19%	13	16%	13	18%	123	18%
子どもの通学の便がよい	2	3%	7	8%	4	5%		0%		0%		0%	1	1%		0%	3	4%	17	2%
買い物、通院など生活の利便性が高い	4	6%	8	9%	4	5%	2	3%	11	12%	13	19%	25	28%	20	25%	14	20%	101	15%
仕事場・勤務先が近い等、仕事上の都合がよい	2	3%	6	7%	6	8%	3	5%	5	6%	2	3%	2	2%	1	1%	3	4%	30	4%
家・敷地が広い	2	3%	1	1%	1	1%	1	2%		0%		0%	1	1%	3	4%		0%	9	1%
その他		0%		0%		0%	1	2%		0%	1	1%		0%		0%		0%	2	0%
小計	66		92		76		58		90		70		90		80		71		693	

○調査結果11（情報収集満足度）

・今後の生活に必要な情報への満足度について、質問を行った。

今後の生活に十分な情報を得られているのは2%のみであった。また、「欲しい情報をあまり得ることができない」、「まったく得られていない」を合わせると68%が情報への何らかの不満を持っている状況であった。

復興に関する情報満足度



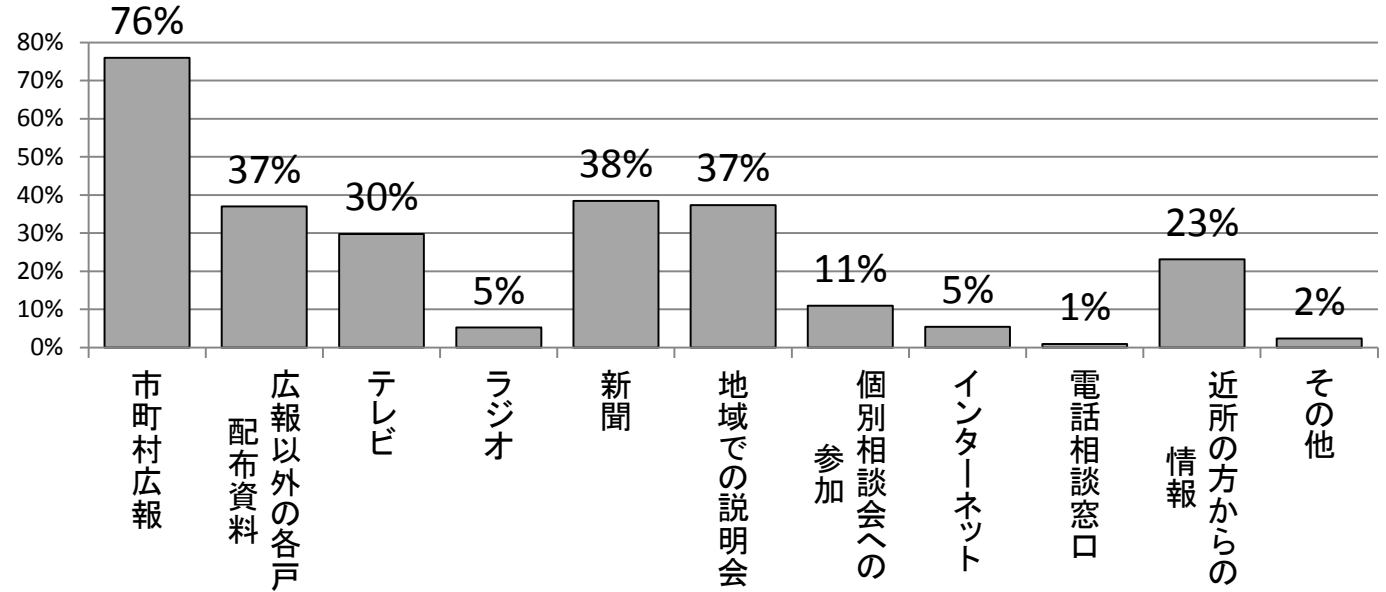
情報収集の満足度	40代以下				50代				60代				70代以上				未回答		全体	
	男性		女性		男性		女性		男性		女性		男性		女性		n	%	n	%
	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%						
今後の生活に十分な情報を得られている	2	3%	1	1%	2	2%	2	3%	2	2%	2	2%	3	3%	3	3%	3	3%	20	2%
自分に最低限必要な情報は得られている	34	45%	39	39%	33	39%	24	40%	45	38%	41	44%	45	40%	39	36%	31	35%	331	40%
欲しい情報をあまり得ることができていない	26	35%	42	42%	39	46%	22	37%	51	43%	36	39%	47	42%	47	44%	41	47%	351	42%
欲しい情報をほとんど得られていない	13	17%	17	17%	10	12%	12	20%	20	17%	14	15%	17	15%	18	17%	13	15%	134	16%
小計	75		99		84		60		118		93		112		107		88		836	

○調査結果12（参考とするメディア ※複数回答）

復興に関する情報を得る手段

・普段の生活で復興に関する情報を得る手段について複数回答で質問した。

主な復興のメディア（複数解）に関しては、「市町村広報」が最も高く、次いで「新聞」「各戸配布資料」「地域説明会」であり、紙媒体、行政からの直接的な情報提供の場を重視している傾向が見られた。



主な復興情報メディア (複数回答)	40代以下				50代				60代				70代以上				未回答		全体	
	男性		女性		男性		女性		男性		女性		男性		女性		n	%	n	%
	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%						
市町村広報	55	73%	89	87%	70	80%	52	81%	96	74%	78	78%	102	84%	85	69%	57	58%	684	76%
広報以外の各戸配布資料	32	43%	44	43%	30	34%	26	41%	48	37%	38	38%	38	31%	42	34%	35	36%	333	37%
テレビ	23	31%	33	32%	22	25%	19	30%	43	33%	35	35%	40	33%	34	27%	19	19%	268	30%
ラジオ	6	8%	3	3%	6	7%	4	6%	8	6%	3	3%	7	6%	7	6%	3	3%	47	5%
新聞	34	45%	42	41%	40	46%	34	53%	53	41%	36	36%	40	33%	40	32%	27	28%	346	38%
地域での説明会	27	36%	25	25%	27	31%	31	48%	59	46%	37	37%	50	41%	48	39%	32	33%	336	37%
個別相談会への参加	4	5%	6	6%	6	7%	7	11%	20	16%	17	17%	15	12%	14	11%	10	10%	99	11%
インターネット	13	17%	11	11%	9	10%	4	6%	7	5%	1	1%	2	2%	1	1%	1	1%	49	5%
電話相談窓口		0%	1	1%		0%	1	2%	2	2%	3	3%		0%	1	1%		0%	8	1%
近所の方からの情報	22	29%	31	30%	17	20%	22	34%	28	22%	21	21%	24	20%	25	20%	18	18%	208	23%
その他	3	4%	3	3%	2	2%		0%	4	3%	2	2%	2	2%	4	3%	1	1%	21	2%
回答者数	75		102		87		64		129		100		121		124		98		900	

○調査結果13（より拡充してほしい情報）

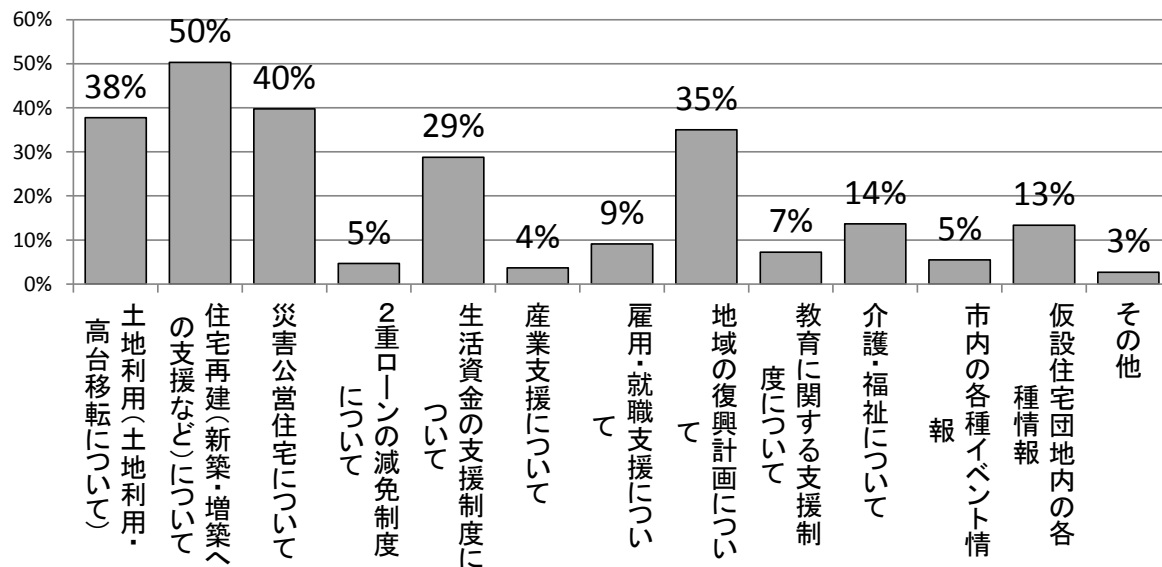
・今後、拡充してほしい情報について複数回答で、質問を行った。

拡充してほしい情報として「住宅再建について」が最も高く、ついで「災害公営住宅」、「土地利用」の順となった。

このことから将来の住まいについての関心が高いことがうかがえる。

また、40代以下では、生活資金や教育に関する支援制度、また70代以上は介護、福祉を回答した割合が高かった。

拡充してほしい情報



拡充してほしい情報 (複数回答)	40代以下				50代				60代				70代以上				未回答		全体	
	男性		女性		男性		女性		男性		女性		男性		女性		n	%	n	%
	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%				
土地利用(土地利用・高台移転について)	40	53%	47	46%	35	40%	34	53%	48	37%	35	35%	36	30%	31	25%	34	35%	340	38%
住宅再建(新築・増築への支援など)について	52	69%	60	59%	58	66%	42	66%	68	53%	43	43%	52	43%	40	32%	38	39%	453	50%
災害公営住宅について	31	41%	44	43%	35	40%	18	28%	57	44%	40	40%	47	39%	60	48%	26	27%	358	40%
2重ローンの減免制度について	7	9%	4	4%	9	10%	5	8%	6	5%	3	3%	3	2%	2	2%	3	3%	42	5%
生活資金の支援制度について	30	40%	38	37%	26	30%	20	31%	36	28%	30	30%	25	21%	33	27%	21	21%	259	29%
産業支援について	6	8%	5	5%	7	8%	5	8%	3	2%		0%	4	3%	1	1%	2	2%	33	4%
雇用・就職支援について	13	17%	18	18%	12	14%	9	14%	10	8%	3	3%	11	9%	2	2%	4	4%	82	9%
地域の復興計画について	28	37%	40	39%	42	48%	25	39%	45	35%	34	34%	39	32%	32	26%	30	31%	315	35%
教育に関する支援制度について	16	21%	25	25%	10	11%	3	5%	1	1%	4	4%	3	2%	1	1%	2	2%	65	7%
介護・福祉について	11	15%	9	9%	8	9%	11	17%	10	8%	13	13%	18	15%	33	27%	10	10%	123	14%
市内の各種イベント情報	5	7%	12	12%	7	8%	4	6%	4	3%	4	4%	2	2%	7	6%	4	4%	49	5%
仮設住宅団地内の各種情報	8	11%	13	13%	12	14%	7	11%	12	9%	14	14%	20	17%	21	17%	13	13%	120	13%
その他	3	4%	5	5%		0%	1	2%	5	4%	3	3%	3	2%	2	2%	2	2%	24	3%
回答者数	75		102		88		64		129		99		121		124		98		900	

○調査結果13（住まいの見通しと情報満足度の関係）

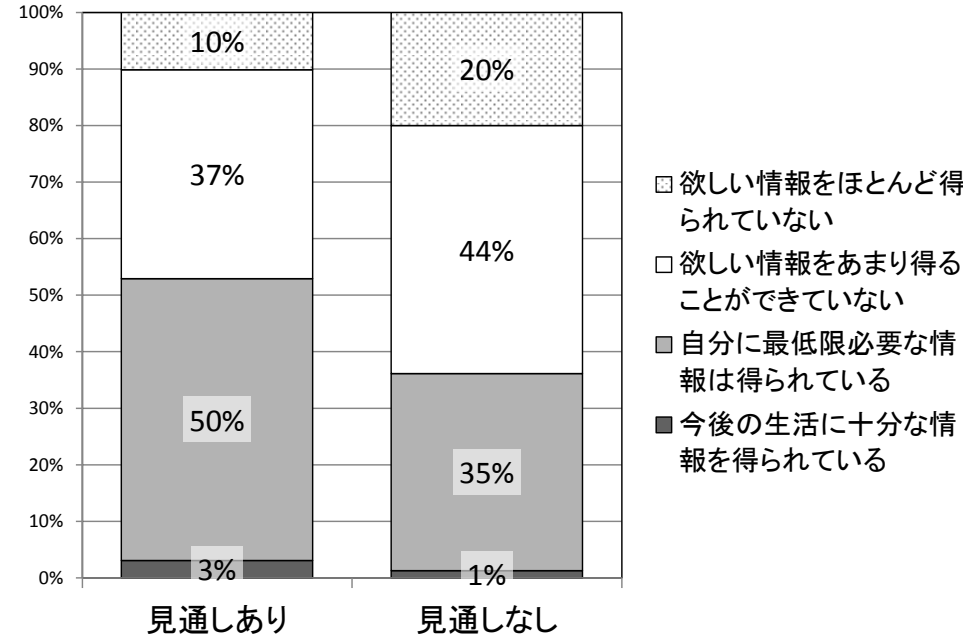
・情報満足度と今後、拡充してほしい情報について、住まいの見通しがある（「既に見通しが立っている」「住まいを探し始めている」の回答者）と、見通しなし（「住まいについて検討し始めている」「何もしていない」の回答者）と比較を行った。

住まいの見通しと情報収集の満足度については、見通しありのほうが、高い情報収集満足度を示した。

また、見通しなしの回答者では特に住宅再建、土地利用、災害公営住宅、生活資金の支援で見通しありと比較し、高い割合を示している。

このことから、住まいに関する情報を得られるかどうかと住まいの見通しについての関連性が見られる。

住まいの見通しと情報収集満足度



拡充してほしい情報と住まいの見通し

